

# こんにちは！日本共産党長野市議団です

## 12月議会報告



(左から) おいで光、滝沢しんいち、佐藤くみ子、あべ孝二、小林よしかず、黒沢清一、野々村ひろみ各市議

### 代表質問から

長野市議会12月定例議会が11月1日から12月16日まで開かれました。党市議団から代表質問をあべ孝二市議、個人質問を黒沢清一、おいで光、佐藤くみ子各市議が行い、野々村ひろみ、小林よしかず、滝沢しんいち各市議は委員会、討論で奮闘しました。

### 加藤市長、安倍晋三政権を

#### 「おおむね評価」

安倍政権はTPP、年金、カジノ法案の強行採決を重ねるなど、強権政治を進めました。また、自衛隊員に駆けつけ警護など新たな任務を付与して南スレーダンへ派遣。さらに国連総会で核兵器禁止条約の締結交渉議案に反対。原

発再稼働、アベノミクスの破綻などは広範な国民との矛盾をますます広げ、あらゆる点で政策的行き詰まりを示しています。この暴走を続ける安倍政権を評価するのかと質しました。市長は「考えは変わらない」としました。

### 市の積算誤り 5件が再発覚

市は、平成28年8月23日に建設工事に係る積算誤りによる入札停止が31件発生し、その内4件については380万円の損害賠償金を払っています。原因は積算システムの変更に適切に対応できなくなったためなどとし、改善策が示されました。しかしその後も党市議団に入札業者から、積算誤りがあるとの情報が寄せられたため、あらためて事実の確認を行つたところ、5件の誤りがあつたことを認め、議会で謝罪しました。党市議団は積算誤りが指摘された場合は直ちに入札を停止し、精査を行い、賠償金の支払いなどないように改善を求めたところ、方策が示されました。

### 個人質問から

#### 児童館・児童センター・子どもプラザ

#### 「無料」継続を求める



全国では、児童の安全な居場所として児童館や放課後こども教室が無料で設置されています。しかし長野市では「長野市版放課後こども総合プラン」として、健全育成事業としての留守家庭児童対策と、全児童対策としての放課後こども教室が一体のものとして運営されています。そのため有料化になりました。

よつて無料で使える子供の居場所がなくなる大きな矛盾を生むことになります。放課後こども総合プラン無料を継続し、「安心して子育てができる長野市」を作つていくべきだと市の姿勢を質しました。

市は公共工事設計労務単価の大額な引き上げによりて、平成25年4月から平成28年2月までに、165件の事業で再契約を行つてきました。再契約によって元請けに払われた工事代金は、その内の、平成27年2月から28年11月まで65件だけでも、増額分は3500万円を超えていました。長野市は再契約した企業にアンケート調査を行つてきましたが、回答があった19社のうち10社しか下請け業者との再契約を行つていないこと

労務単価が改定されているのに実質的には下請けの労働者はそれが反映されておらず、元請けがピンハネしていることになります。

長野市は今まで元請けと下請けの関係について民間対民間の問題なので介入できないとしてきましたが、今議会では下請け業者の適正な賃金の確保が図られるようその方策を研究していくかと改善が約束されました。

が明らかになりました。

労務単価の大幅な引き上げ分の下請け業者の適正な賃金の確保について前向き答弁



おいで光  
(議長)  
建設企業委員会、総合計画等調査研究特別委員会、まちづくり対策特別委員会、議会運営委員会、長野広域連合議会議員、農業委員会



滝沢しんいち  
(副議長)  
福祉環境委員会、農林業振興対策特別委員会、千曲衛生施設組合議会議員、長野市都市内分権審議会委員



黒沢清一  
(副議長)  
経済文教委員会、公共施設の在り方調査研究特別委員会、北信保健衛生施設組合議会議員、長野市都市内分権審議会委員



あべ孝二  
(副議長)  
経済文教委員会、農林業振興対策特別委員会、議会報編集委員会委員



小林よしかず  
(幹事長)  
福祉環境委員会、農林業振興対策特別委員会、議会運営委員会、長野広域連合議会議員、農業委員会



野々村ひろみ  
(議長)  
総務委員会、まちづくり対策特別委員会、議会運営委員会、建設企業委員会、総合計画等調査研究特別委員会、長野市都市計画審議会委員

## 就学援助 制度の 入学準備金の 事前支給について

## 全国学力テストの 結果だけが 独り歩きしないように

県内では、就学援助の入学準備金の支給を入學時に間に合わせる自治体が増えてきました。松本市では来年から、6月に支給していました。中学の入学準備金を3月に前倒しして支給することになりました。他にも軽井沢町、池田町、須坂市でも導入されたり、検討がされています。繰り返し要求してきましたが、中学入学準備金は、事前支給を早急に実施するよう、質問しました。

市教委は、本会議では支給を早めることは、困難であるという姿勢でしたが、委員会のなかで、支給時期について調査研究をするすめという前向きな答弁をしました。

全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の意義は、「児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、指導改善に生かすため」ということですが、実情は



安倍政権により、全国学力テストが再び全員調査方式になつて4年、市のNRTテストも拡充され、子どもたちはテスト漬けの毎日を送っています。

そもそも測られるのは眞の「学力」なのか、問題は適切な内容か、検証されないまま「結果」のみが独り歩きして、権威づけられています。

全国学テの数字だけが独り歩きしないよう、現場の実態や問題点をふまえて、全国学力テストには、参加しないことや、全国学力テストのための事前の宿題が先行しないよう各学校へ指導するよう求めました。

市教委は、事前の宿題が先行しないよう、今後も市立小中学校へ必要な指導をしていくと回答しました。

## 27年度決算に反対

市民から寄せられた「中学校の部活動で30万円の楽器を買うよう顧問から言われて困った」という声を紹介、高額な楽器などは学校備品として整備を進めることが、学校同士の融通を行うことなどを要望しました。

教育次長は「学校によつては部員数が増え、備品楽器では追いつかない場合がある」と認め、予算の範囲での整備を続けると答弁。学校間の融通もこれまで以上に行うとしました。

質問の中で、他の自治体では楽器は学校備品のみで活動している事が一般的だと指摘しました。貧困と格差が学校生活に影響しない取り組みが求められています。



平成27年度長野市決算に対し会派として反対しました。反対討論の中では、職員の非正規化が進んで官製ワーキングプアとなつてゐる点、すでに解決済みの同和教育への支出がある点、自衛隊への18歳名簿提供が行われた点、その他活断層上の新中央消防署建設や焼却施設の灰溶融炉など危険性を指摘しました。

これらは日本共産党市会議員団が予算の段階で修正案を示し反対してきたものです。今後も市民の安全と生活第一の姿勢を貫いてまいります。

昨年の安全保障法制

II 戦争法に反対する国 民的な運動が「野党は共闘」の大きなうねりを作りだし、新しい時代が始まっています。

12月長野市議会には

市民団体から6本の請願が提出されました

が、各委員会では5対4の僅差で否決され、議会最終日の本会議では22対16で不採択となりました。

しかしその差はわずか6人で、あと3人の野党議員を増やすことができます。

市民と野党の共闘が今時代を大きく動かそくとしていることを実感します。

## 長野市議会でも 野党と市民の共闘は前進

### 編集後記

後援会活動の一つに「恒例お餅つき大会」があります。長年先輩が準備し、実施され好评でしたが、寄る年波や、体調を崩されたりで頼る事ができなくなつてしましました。今まで私はその日の夜の望年会の担当だったのでお餅つきのほうは参加していませんでした。お餅つきのほうは参加していませんでしたが、今回は采配を振らせてもらいました。お米、小豆、きな粉を買ってもらう事、杵臼、あんこを作る、米を洗つてほどばす、当

日かまどの火おこし、餅つくり、丸める人な



請	願	共産党長野市議団 改革ながの市民ネット 無所属 合計	新友会 公明党市議会議員団 合計
長野市社会保障推進協議会から提出			
①「国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止」の意見書提出を求める請願	○	×	
②「子ども・障がい者の医療費窓口無料化」意見書提出を求める請願	○	×	
③医療制度改定による患者負担増計画の中止・充実を求める請願	○	×	
④次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の利用者負担増計画の中止・撤回を求める請願	○	×	
⑤介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める請願	○	×	
長野市「憲法9条の会」から提出			
⑥安保法制の廃棄を求める併せて、南スーダン派兵の自衛隊の即時撤退を求める請願	○	×	

○=賛成 ×=反対